



世界のトップ・アーティストたちの注目の公演

MUSE CONCERTS PICK UP

聴き逃さないでください！

内田光子が絶賛し、ベルリン・フィルと共演する希有な才能

ヒ

ラリー・ハーン、ジャーヌ・ヤンセン、リサ・バティアシヴィリ、アラベラ美歩シュタインバッハーなど、ヨーロッパで活躍する若い女性ヴァイオリン奏者。その中でも成熟した音楽性でひととき豊かな才能を感じさせるのが、6月15日〔土〕に所沢ミューズに登場するヴィヴィアン・ハーグナーだ。

12歳でデビュー以来、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ゲヴァントハウス管、モントリオール響などのトップ・オーケストラと共演し、アバド、メータ、アシュケナージ、バレンボイム、ケント・ナガノなどの一流指揮者と共演を重ねている。世界的なピアニスト内田光子はかねてからハーグナーの才能を高く評価しており、2010年には東京オペラシティでも共演し隙もない見事なアンサンブルで聴衆を圧倒した。

2012～2013年にかけてもハーグナーは、エサ・ペッカ・サロネン、ケント・ナガノ・オッコ・カムなどの指揮者で、フィルハーモニア管、ベルリン・コンツェルトハウス管、モントリオール響などと共演するなど、世界中からひっぱりダコの状況が続いている。

今回の所沢公演では、ベートーヴェン・コンクールで2位を獲得し、ベルリンを拠点に活動する実力派ピアニスト高橋礼恵と共演し、バッハ、モーツァルト、シューベルト、ブラームスといったドイツ音楽の王道で真っ向勝負を挑む。卓越した音楽性と美貌を併せ持つ気鋭ヴァイオリニストの“今”を映し出す美しい演奏をぜひお楽しみください。



Viviane Hagner